



兵庫県淡路市

企業参入による「淡路島から世界品質」 ～「竹」の恵みで完熟の淡路島たまねぎ～

かぶしきがいしゃいけがみのうじょう

株式会社池上農場

WEB サイト： <https://www.awajishima-farm-ikegami.com/>

参入法人の概要

法人形態：農地所有適格法人

代表者名：代表取締役 齋藤 亜紀美

所在地：兵庫県淡路市高山乙 515-2

設立年次：2010 年 2 月

資本金：2,500 万円

親会社：株式会社池上建設

営農形態：露地栽培

主要作物：玉ねぎ

経営面積：1,450a(うち所有 800a、借入 650a)

主な販売先：直接販売、ふるさと納税

売上額：1 億 3000 万円（農業売上高）

従業員：19 名（うち常勤 14 名、非常勤 5 名）

●農業に参入した目的を教えてください

親会社である株式会社池上建設は建設業を営んでいますが、独立した農業法人として池上農場を株式会社化しました。

参入目的は大きく 2 つあり、①雇用の維持②農業の担い手が減少し耕作放棄地が増えていく中、淡路島ブランドの「たまねぎ」を生産振興することにより農地の有効活用で地域に貢献することです。

●当該土地を選んだ理由を教えてください

当社（経営者）は、小規模農業として受け継いだ自作地があり、法人化により近郊農地の受け皿として持続的農業に貢献し、集落と農地を守り地域活性化に寄与したいと考えました。

●当該作物を選んだ理由を教えてください

兵庫県や淡路市が奨励作物としてたまねぎの生産を振興しており、2010 年には、淡路島たまねぎが団体商標登録されたことから、当社としても効率的な農地の有効活用を検討するにあたり、たまねぎの生産を中心とした農業形態として立ち上げました。

●参入にあたって栽培技術面等の課題にどのように対応されましたか

県等の行政機関からのご指導や専門家の皆さまの教えにより栽培技術の工夫を行っておりますが、気候変動対策など課題は常にあるため、現在では、肥料散布でのドローン活用も含め、生産性向上に向けた取組により利益を出すことを心掛けています。



育苗管理

●販売先、販路についてはどのように確保されましたか



肥料の原材料となる竹

化学農薬と化学肥料の使用をできるだけ減らした栽培を実現させるため、周辺の竹林を活用し、抗菌作用のある竹粉を活用したオリジナルブランド「あやたけ」を開発し、積極的に展示会やスーパー等への営業活動を行いました。また、柔軟なロット構成により販売先の要望に応えています。

商談にあたっては、風味豊かなブランド特性を訴求することにより、バイヤーへの理解が深まり、販路拡大に繋がっています。

●農業参入してみて気づいた（参入するまで気づかなかった）のはどのようなことですか

当初のたまねぎ生産は、栽培に適した中生品種のため販売に端境期があり、例えば次回に商品を持参した際には、陳列棚が他の会社に置き換えられることがありました。

そのため、販売先の陳列棚に常時陳列できるよう、極早生品種から晩成品種まで、幅広い栽培に取り組むようになりました。

多品種の栽培にあっては労働力の確保が課題となりますが、効率的な設備導入と作業の機械化を進めることにより安定した経営に役立ったと言えます。



貯蔵倉庫

●地域の方や農業委員会、JA、自治体との関係について気を付けていることを教えてください

常に丁寧に接することを心掛けています。さらには、誰に対しても平等であることが重要だと思います。今後も農地の借受けなどが考えられるため、預かった農地をしっかりと活用していくことが必要だと思っています。

●今後の経営方針について教えてください



竹粉肥料で育てた独自ブランド「あやたけ」

当社ブランドの海外展開も視野に入れており、商社等の仲介を通さない商談も行っていきたいと考えています。

商談においては先方のニーズをダイレクトに聞くことが可能であり、品質の向上とともにお客様に喜ばれる商品づくりに役立てたいと考えています。

●今後、農業参入しようと考えている企業へのメッセージをお願いします

農業は天候や病気に左右されることが多く、すぐに儲かるものではないと思っていただきたいです。目的は「儲かる農業」ですが、どのような綿密なスケジュールを立てても最初から儲かることはないと思っていただくためにも、事業開始5年程度は儲からない時期として耐えうる体力を持ってほしいです。私のモチベーションは、「お客さまに美味しい商品を届ける」ことで、今のところ初志は貫徹されていると思っています。